

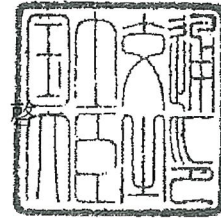


認定書

国住指第 1806 号
平成 28 年 9 月 29 日

株式会社チューオー
代表取締役 芝藤 保幸 様

国土交通大臣 石井



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 63 条並びに同法施行令第 136 条の 2 の 2 第一号及び第二号（防火地域又は準防火地域内の建築物の屋根）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
DR-1892(1)
2. 認定をした構造方法等の名称
塗装鋼板・硬質ウレタンフォーム・アスファルトルーフィング・野地板〔木質系ボード、セメント系ボード又は火山性ガラス質複層板〕表張／支持部材〔木製又は鋼製〕屋根
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。



素晴らしい人間環境づくり

ニチハ株式会社

管理番号 NICHHA・F-



1. 構造名：

塗装鋼板・硬質ウレタンフォーム・アスファルトルーフィング・野地板〔木質系ボード、セメント系ボード又は火山性ガラス質複層板〕表張／支持部材〔木製又は鋼製〕屋根

2. 仕様の形状・寸法等：

仕様の形状・寸法等を表 1 に示す。

表 1 仕様の形状・寸法等

項 目	仕 様
形状	平板葺き形状
支持部材の間隔	606mm 以下
支持部材の傾斜角度	0° 以上 70° 未満

3. 仕様の主構成材料：

仕様の主構成材料を表 2 に示す。

表 2 仕様の主構成材料

項 目	仕 様
葺材	<p>仕様：①又は②</p> <p>①長さ：1800(-5)～10000(+5)mm 幅：301.5(±30)mm(有効幅：260(±26)mm) 厚さ：0.35(-0.05)～17.0(+2)mm</p> <p>②長さ：1800(-5)～10000(+5)mm 幅：309(±31)mm(有効幅：260(±26)mm) 厚さ：0.35(-0.05)～12.0(+2)mm</p> <p>質量：5.6(-0.56)～15(+1.5)kg/m²</p> <p>構成：①～③</p> <p>①表面材：塗装鋼板 厚さ：0.35～1.0mm 材料：1)～3)</p> <p>1)表面塗装 質量：49.5(+4.9)g/m²以下(有機質量27.7g/m²以下) 組成(質量%)：a)及びb)、又はc)</p> <p>a)合成樹脂 63以下 材質：(1)～(3)の一 (1)ポリエステル系樹脂 (2)フッ素系樹脂 (3)ウレタン系樹脂</p> <p>b)無機質系顔料(アルミ、酸化チタン等) 37 以上</p> <p>c)なし</p>

つづく

つづき

葺材	<p>2) 基材：a)～1) の一</p> <p>a) 溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3321)</p> <p>b) 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3317)</p> <p>c) 溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3314)</p> <p>d) 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3323)</p> <p>e) 一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101)</p> <p>f) 冷間圧延鋼板 (JIS G 3141)</p> <p>g) 熱間圧延軟鋼板 (JIS G 3131)</p> <p>h) 電気亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3313)</p> <p>i) 建築構造用溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (国土交通大臣認定指定建築材料：MSTL-0064、MSTL-0065、MSTL-0069、MSTL-0070、MSTL-0362、MSTL-0395)</p> <p>j) 冷間圧延ステンレス鋼板 (JIS G 4305)</p> <p>k) 熱間圧延ステンレス鋼板 (JIS G 4304)</p> <p>1) 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3302)</p> <p>a)～1) の原板厚さ：0.35～1.0mm</p> <p>3) 裏面塗装</p> <p>質量：10.2(+1.0)g/m²以下(有機質量6.1g/m²以下)</p> <p>組成(質量%)：a)及びb)、又はc)</p> <p>a) 合成樹脂 60以下</p> <p>材質：(1)～(6)の一</p> <p>(1) ポリエステル系樹脂</p> <p>(2) フッ素系樹脂</p> <p>(3) ウレタン系樹脂</p> <p>(4) エポキシ系樹脂</p> <p>(5) ポリ塩化ビニル系樹脂</p> <p>(6) ポリエチレン系樹脂</p> <p>b) 無機質系顔料(アルミ、酸化チタン等) 40以上</p> <p>c) なし</p> <p>② 芯材：硬質ウレタンフォーム</p> <p>厚さ：1)又は2)</p> <p>1) 仕様①：0(最小部)～16.5(最大部)mm</p> <p>2) 仕様②：0(最小部)～11.5(最大部)mm</p> <p>密度：25(±3)kg/m³</p> <p>イソシアネート指数：82</p> <p>組成(質量%)</p> <table border="0"> <tr> <td>ポリイソシアネート</td><td>59(±6)</td></tr> <tr> <td>ポリエーテル系ポリオール</td><td>30(±4)</td></tr> <tr> <td>水</td><td>3(±3)</td></tr> <tr> <td>難燃剤(りん酸エステル)</td><td>6(±2)</td></tr> <tr> <td>添加剤(ウレタン化触媒、製泡剤等)</td><td>2(±3)</td></tr> </table> <p>※水及び添加剤の割合が0以下となる仕様は含まない</p>	ポリイソシアネート	59(±6)	ポリエーテル系ポリオール	30(±4)	水	3(±3)	難燃剤(りん酸エステル)	6(±2)	添加剤(ウレタン化触媒、製泡剤等)	2(±3)
ポリイソシアネート	59(±6)										
ポリエーテル系ポリオール	30(±4)										
水	3(±3)										
難燃剤(りん酸エステル)	6(±2)										
添加剤(ウレタン化触媒、製泡剤等)	2(±3)										

つづく

つづき

葺材	<p>③裏面材：1)～3)の一</p> <p>1)アルミニウム蒸着紙 厚さ：0.210(±0.020)mm 質量：164(±15)g/m²(有機質量：164(±15)g/m²) 構成：a)～c) a)アルミニウム蒸着PET 厚さ：0.012(±0.0012)mm(張り合せ前) 質量：16.31(±7.71)g/m²(張り合せ前) b)中芯紙 厚さ：0.200(±0.020)mm(張り合せ前) 質量：120(±3.6)g/m²(張り合せ前) c)ポリエチレン系樹脂 厚さ：0.03(±0.004)mm(張り合せ前) 質量：27.69(±3.692)g/m²(固形量)(張り合せ前)</p> <p>2)アルミニウムはくラミネートクラフト紙 厚さ：0.146～0.176mm 質量：117～157g/m²(有機質量：98～138g/m²) 構成：a)～c) a)アルミニウムはく 厚さ：0.007mm 質量：19g/m² b)クラフト紙 厚さ：0.109～0.139mm 質量：70～110g/m² c)ポリエチレン系樹脂 厚さ：0.03mm 質量：28g/m²(固形量)</p> <p>3)アルミニウムはくラミネート炭酸カルシウム紙 厚さ：0.282～0.332mm 質量：199～206g/m²(有機質量：90.9～93.3g/m²) 構成：a)～c) a)アルミニウムはく 厚さ：0.007mm 質量：19g/m² b)炭酸カルシウム紙 厚さ：0.225～0.275mm 質量：135～142g/m² 組成(質量%) 炭酸カルシウム 55(±4.5) パルプ 26(±2.6) ガラス繊維 11(±1.1) バインダー(アクリル樹脂系) 8(±0.8) c)ポリエチレン系樹脂 厚さ：0.05mm 質量：45g/m²(固形量)</p>
----	---

つづく

つづき

下葺材	<p>材料：①～④の一</p> <p>①アスファルトルーフィング(JIS A 6005) 単位面積質量の呼び：940(有機質量940g/m²以下) 上下方向重ね幅：600mm以下 左右方向重ね幅：250mm以下</p> <p>②アスファルトルーフィング(JIS A 6005) 単位面積質量の呼び：1500(有機質量1500g/m²以下) 上下方向重ね幅：600mm以下 左右方向重ね幅：250mm以下</p> <p>③砂付ルーフィング(JIS A 6005) 単位面積質量の呼び：3500(有機質量2500g/m²以下) ルーフィング材質：アスファルト系 上下方向重ね幅：600mm以下 左右方向重ね幅：250mm以下</p> <p>④改質アスファルトルーフィング 質量：1枚又は2枚の合計3800(+380)g/m²以下(有機質量3400g/m²以下) 組成(質量%)：1)及び2) 1)改質アスファルト・ポリエステル不織布等 89.5以下(内、改質剤(スチレン系熱可塑性エラストマー)9.0以下) 2)鉱物質 10.5以上 粘着層：1)又は2) 1)改質アスファルト系粘着剤(改質剤：スチレン系熱可塑性エラストマー) 2)なし 上下方向重ね幅：600mm以下 左右方向重ね幅：250mm以下</p>
-----	---

つづく

つづき

野地板	材料：①～⑨の一
木質系ボード	①日本農林規格に適合する普通合板 ②日本農林規格に適合する構造用合板 ③日本農林規格に適合する構造用パネル ④素地パーティクルボード(JIS A 5908) ①～④の厚さ：9mm 以上
セメント系ボード	⑤木質系セメント板(JIS A 5404)：1)又は2) 1)硬質木片セメント板 厚さ：12mm 以上 2)硬質木毛セメント板 厚さ：15mm 以上 ⑥繊維強化セメント板(JIS A 5430) ⑦パルプセメント板(JIS A 5414) ⑧繊維混入けい酸カルシウム板(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8578) ⑥～⑧の厚さ：9mm 以上
火山性ガラス質複層板	⑨火山性ガラス質複層板(JIS A 5440) 厚さ：9mm 以上
支持部材	材料：①～⑪の一
木製下地(たる木)	①一般製材 ②日本農林規格に適合する合板 ③日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材、構造用集成材、造作用製材又は下地用製材 ④日本農林規格に適合する構造用単板積層材又は造作用単板積層材 ⑤日本農林規格に適合する枠組壁工法構造用製材又は構造用たて継ぎ材 ⑥日本農林規格に適合する構造用パネル ①～⑥の断面寸法：幅 30×高さ 30mm 以上
鋼製下地	⑦軽溝形鋼(JIS G 3350) 断面寸法：60×30×1.6mm以上 ⑧リップ溝形鋼(JIS G 3350) 断面寸法：60×30×10×1.6mm以上 ⑨軽山形鋼(JIS G 3350) 断面寸法：40×40×3.2mm以上 ⑩軽Z形鋼(JIS G 3350) 断面寸法：75×47.7×2.3mm以上 ⑪ハット形鋼(JIS G 3350) 断面寸法：40×56.8×1.6mm以上

4. 仕様の副構成材料：

仕様の副構成材料を表 3 に示す。

表 3 仕様の副構成材料

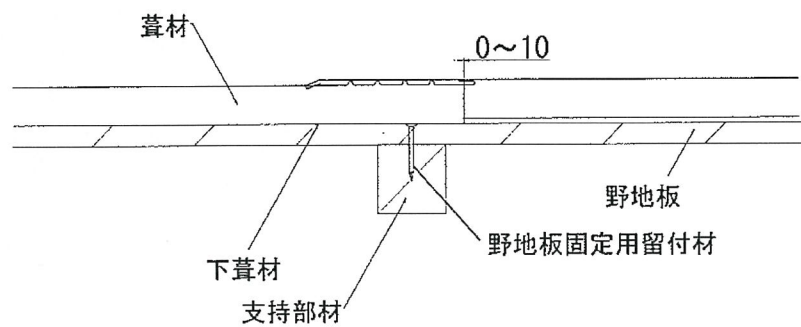
項 目	仕 様
留付材	<p>仕様：①～③</p> <p>①野地板固定用：1)又は2)</p> <p>1)くぎ：$\phi 1.6 \times L25\text{mm}$ 以上</p> <p>2)ねじ：$\phi 2.9 \times L25\text{mm}$ 以上</p> <p>材質：a)又はb)</p> <p>a)ステンレス鋼製</p> <p>b)鋼製</p> <p>留付間隔：幅方向 606mm 以下、流れ方向 980mm 以下</p> <p>②葺材固定用：1)又は2)</p> <p>1)くぎ：$\phi 1.6 \times L25\text{mm}$ 以上</p> <p>2)ねじ：$\phi 2.9 \times L25\text{mm}$ 以上</p> <p>材質：a)又はb)</p> <p>a)ステンレス鋼製</p> <p>b)鋼製</p> <p>留付間隔：幅方向 606mm 以下、流れ方向 260mm 以下</p> <p>③下葺材固定用：1)～4)の一</p> <p>1)ブチルゴム系防水テープ</p> <p>質量：250g/m以下</p> <p>厚さ：2.0(+0.2)mm以下</p> <p>幅：100mm以下</p> <p>2)ゴムアス系防水テープ</p> <p>質量：180g/m以下</p> <p>厚さ：2.0(+0.2)mm以下</p> <p>幅：100mm以下</p> <p>3)アクリル系樹脂防水テープ</p> <p>質量：160g/m以下</p> <p>厚さ：2.0(+0.2)mm以下</p> <p>幅：100mm以下</p> <p>4)ステーブル</p> <p>材料：a)又はb)</p> <p>a)ステンレス鋼製</p> <p>b)鋼製</p> <p>内幅：9.6mm 以上</p> <p>足長さ：6mm 以上</p>

5. 構造説明図：

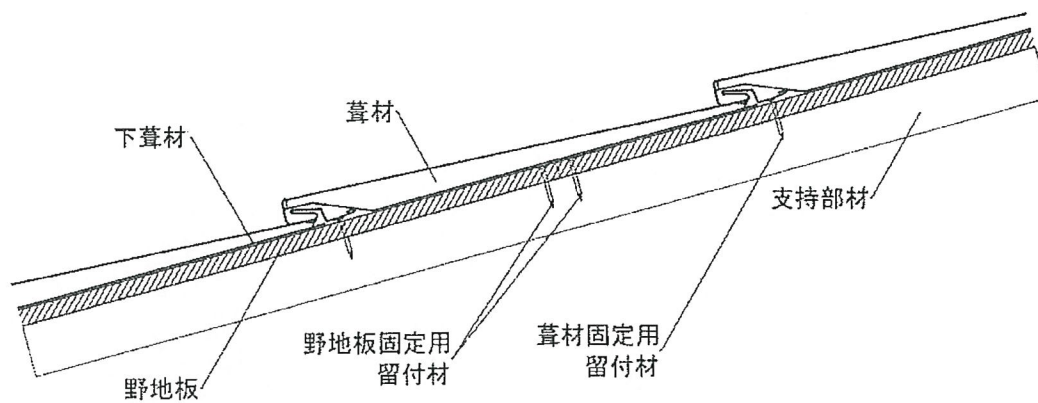
仕様の構造説明図を図1～図4に示す。

単位 mm

葦材横継ぎ部断面図



傾斜方向断面図

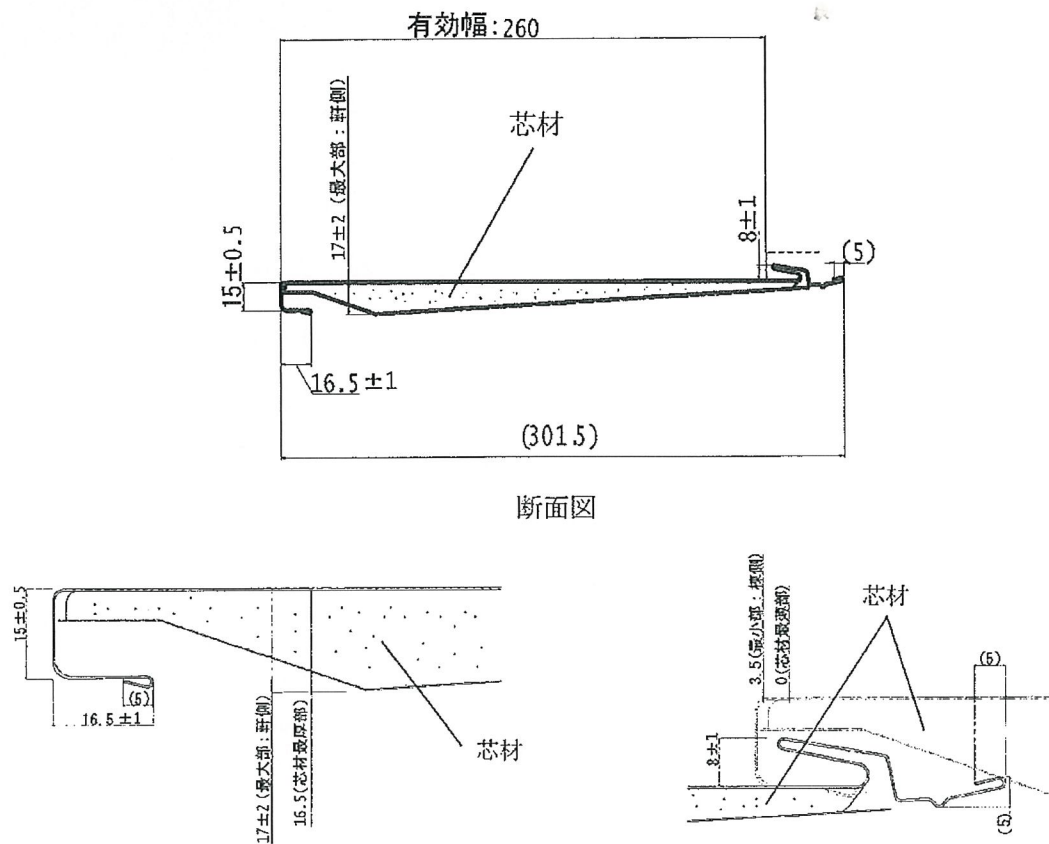


支持部材の傾斜角度：0° 以上 70° 未満

図1 構造説明図

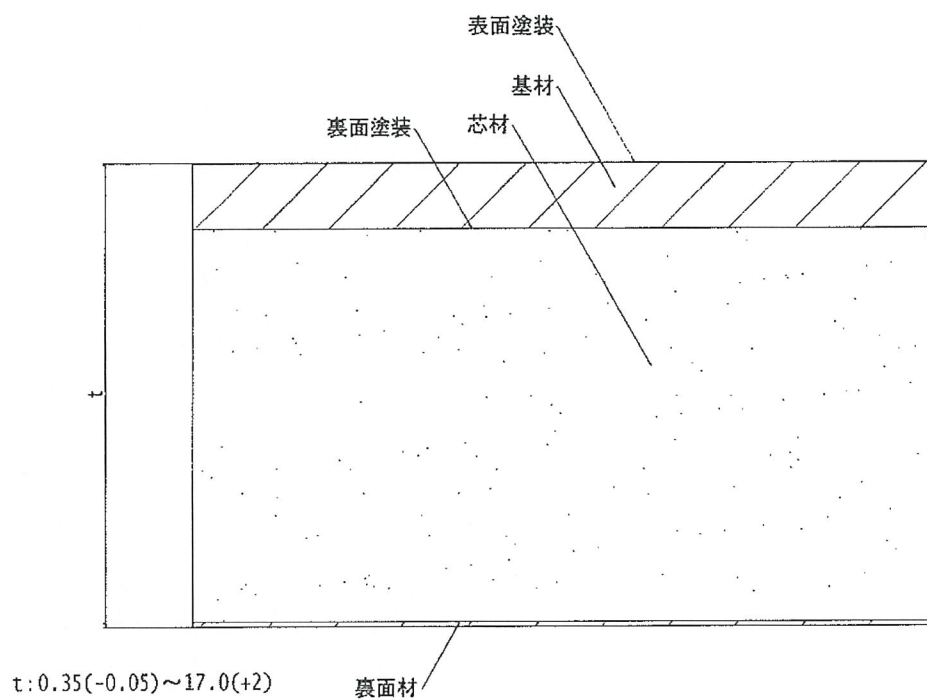
単位 mm

葺材詳細図(仕様①)



断面詳細図(軒側)

断面詳細図(棟側)



断面拡大図

図2 構造説明図

単位 mm

葺材詳細図(仕様②)

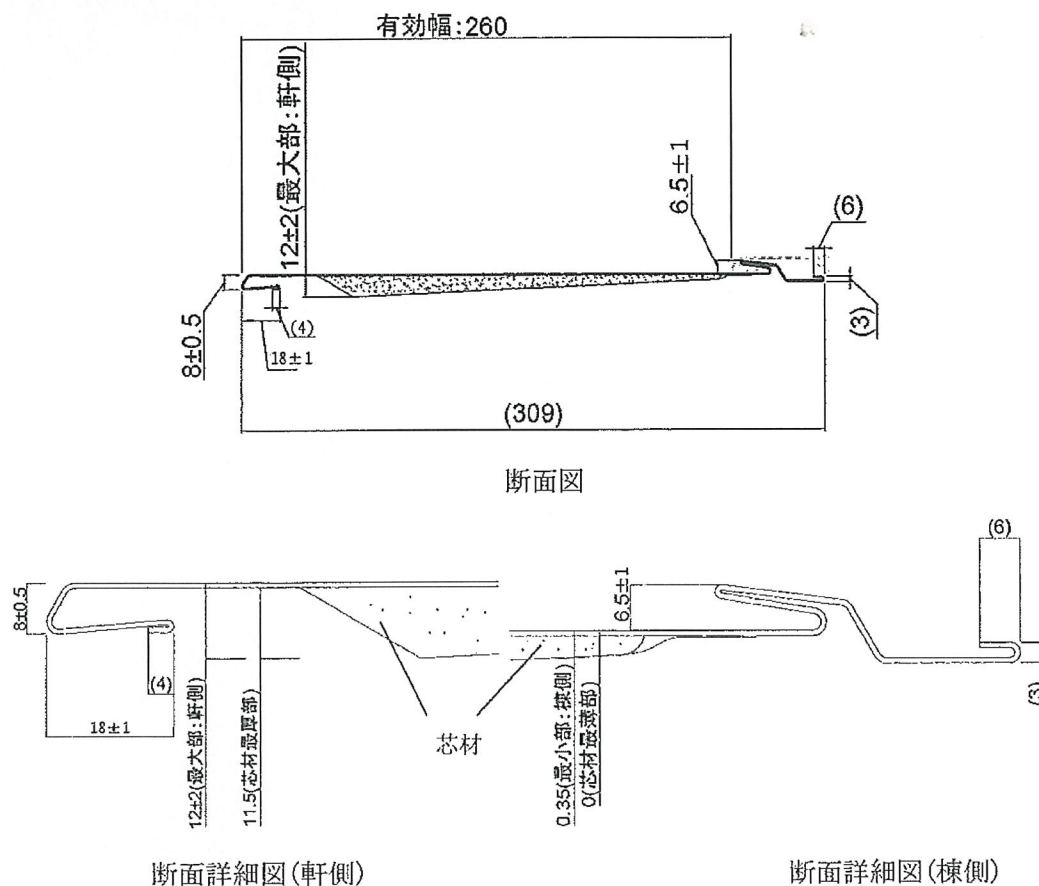
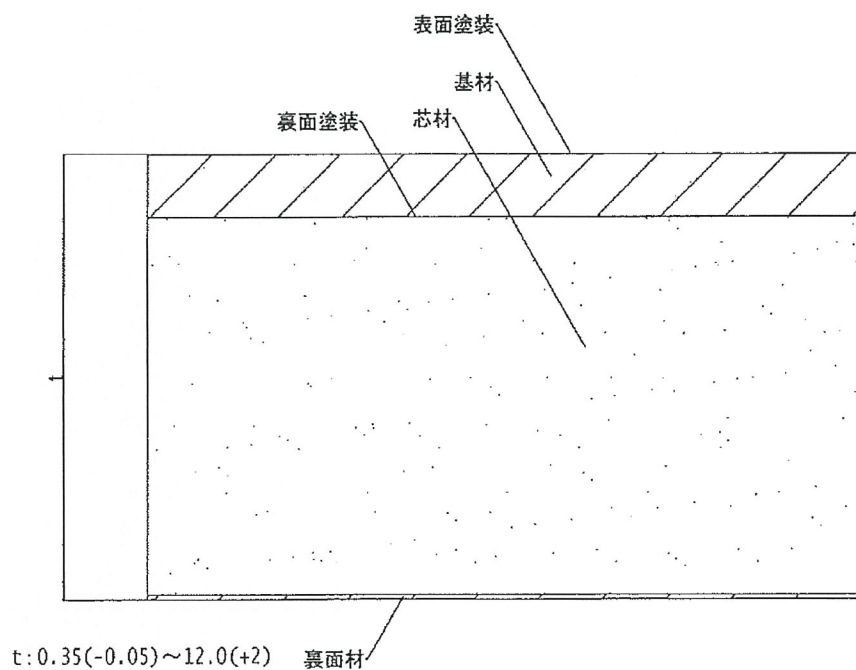


図3 構造説明図

鋼製下地断面詳細図

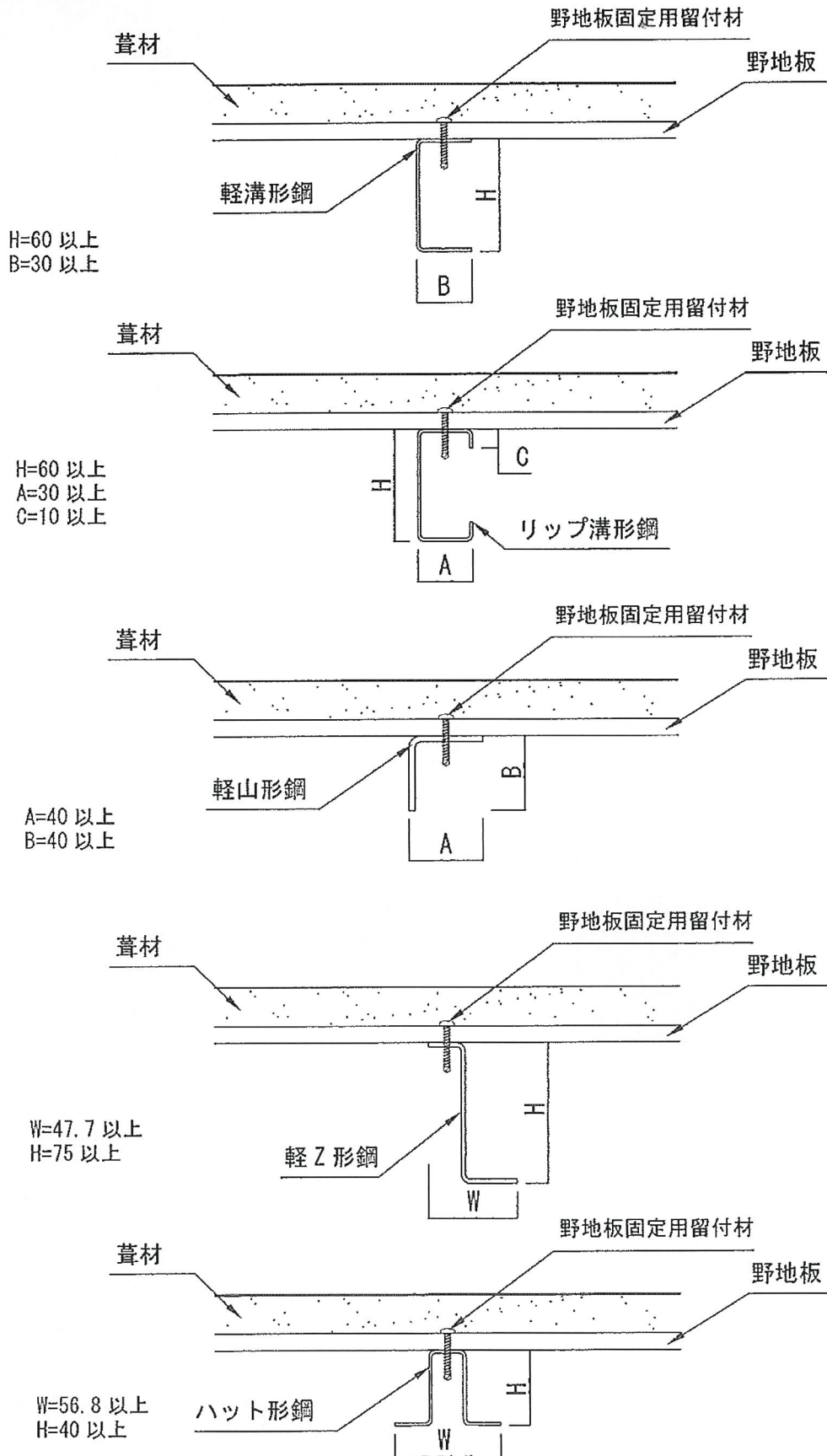


図 4 構造説明図

6. 施工方法

施工図を図5に示す。

施工は以下の手順で行う。

1) 支持部材の取付け

支持部材を 606mm 以内の間隔で取付ける。支持部材の傾斜角度は 0° 以上、 70° 未満とする。

2) 野地板の取付け

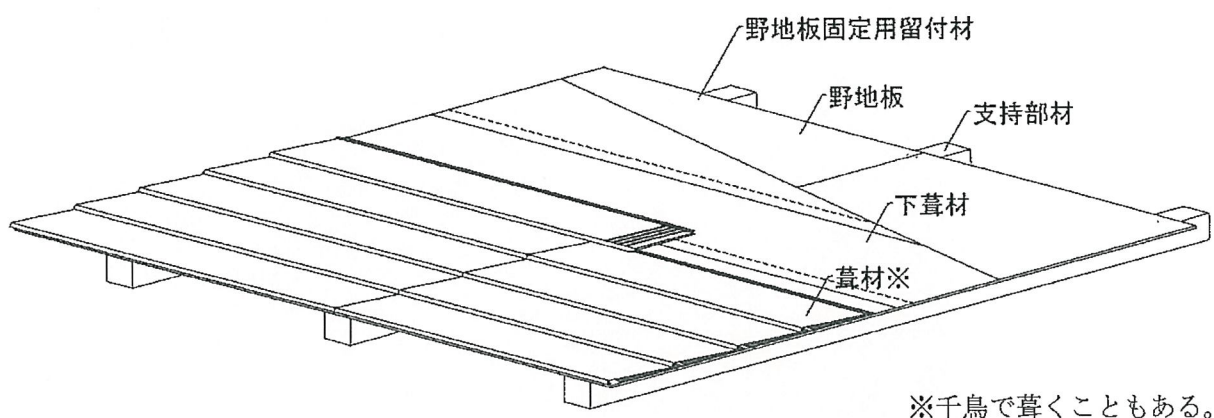
野地板を支持部材に野地板固定用留付材を用いて留付ける。

3) 下葦材の取付け

下葦材を野地板に下葦材固定用留付材を用いて留付ける。

4) 葦材の取付け

葦材を野地板及び支持部材に葦材固定用留付材で留付ける。



※千鳥で葦くこともある。

図5 施工図